

現場の3D化を「楽に」「安く」「早く」



Smart Construction Quick3D

スマホ
アプリ

NETIS登録番号: KT-230083-A
技術名称: Smart Construction Quick3D

調査・測量

施工計画

施工・施工管理

検査



標定点なしでも計測も可能に
[viDoc RTK rover]



Smart Construction Quick3Dの特長

iPhone/iPadで作業可能

ドローンやレーザースキャナが使用できない現場や小規模の現場でも、iPhoneやiPadにアプリをダウンロードすることで、簡単に現場をデジタル化することができます。



標定点なしでも 現場を三次元化

viDoc RTK rover*(後付けGNSSレシーバ)を装着することで標定点を設置することなく現場座標に合った三次元データを作成することができます。

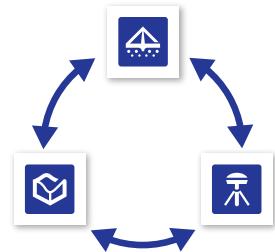
標定点を設置する必要がないため日々の計測もより簡単に行えます。



*viDoc RTK roverは、viGram社製のGNSSレシーバになります。

Smart Construction®シリーズ との連携により更に効率化

Smart Construction RoverやSmart Construction Dashboardと連携することで工数が削減し、短時間で現場のデジタル化が可能になります。



Smart Construction Quick3Dのメリット

iPhoneやiPadに搭載されているカメラやLiDAR機能により、高密度で高精度な現場の点群データ生成が簡単にできます。

Smart Construction Quick3D 活用現場

具体的な活用現場①

【大規模造成】

電線下、橋脚下など



具体的な活用現場②

【道路・河川】

ブロック張り前の計測など



具体的な活用現場③

【都市土木】

飛行制限区域での計測など



Smart Construction®シリーズとの連携



Smart Construction Rover



標定点の座標データの取得



Smart Construction Quick3D



3次元地形測量データの取得



Smart Construction Dashboard



施工現場の見える化

作業時間比較表(400m²計測時)

絶対座標を持った点群を取得する場合の作業内容	使用機種/作業時間					
	①レーザースキャナ (LS) ②トータルステーション (TS)	使用品	④viDoc RTK rover	使用品	⑤Smart Construction Rover	使用品
機材準備	5分×2人	②	2分	④	5分	⑤
標定点/基準点設置・計測	10分×2人	②	—	—	15分	⑤
点群計測	30分×2人	①	10分	③	10分	③
点群処理・座標系変換	30分		5分(+処理待機時間60分)		5分(+処理待機時間40分)	
座標変換(ヘルマート変換)	—		—		5分	
合計	120分		17分(+処理待機時間60分)		40分(+処理待機時間40分)	
準備するもの	・トータルステーション ・レーザースキャナ ・三脚 ・ターゲット		・iPhoneまたはiPad ・viDoc RTK rover		・iPhoneまたはiPad ・GNSSローバー ・ポール ・標定点	

*当社調べ *作業時間および処理時間は、使用者の習熟度、通信環境、撮影条件、撮影写真枚数、使用端末およびサーバーの状態などにより、上記とは異なる場合があります。

利 用 条 件 *	使用デバイス	登録	契約	データ	その他
				—	・補正情報
	・iPhone (Proシリーズ)または iPad Pro(2020年発売以降のモデルのみ) ※viDocはiPad Pro12.9インチにはご対応しておりません。 ・PC ※Googlechrome環境が必要です。 ・viDoc RTK rover	Smart Construction® アカウント	Smart Construction Quick3Dライセンス		

※viDoc RTK roverを使用した場合。viDoc RTK roverを使用しない場合の利用条件は、担当営業までお問い合わせください。



EARTHBRAIN

株式会社EARTHBRAIN

〒106-6029 東京都港区六本木一丁目6番1号 泉ガーデンタワー29階
<https://www.earthbrain.com/>



お問い合わせ先